

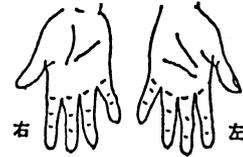
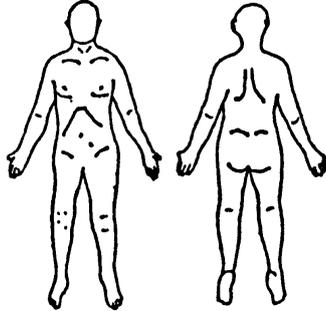


肢体不自由の状況及び所見

**1 神経学的所見その他の機能障害（形態異常）の所見**（該当するものを○でかこみ、下記空欄に追加所見記入。）

- (1) 感覚障害（下記図示）：なし・感覚脱失・感覚鈍麻・異常感覚
- (2) 運動障害（下記図示）：なし・弛緩性麻痺・痙攣性麻痺・固縮・不随意運動・しんせん・運動失調・その他
- (3) 起因部位：脳・脊髄・末梢神経・筋肉・骨関節・その他
- (4) 排尿・排便機能障害：なし・あり
- (5) 形態異常：なし・頭部・脊椎・四肢・その他

参考図示



×変形      ■切離断      ▨感覚障害      ≡運動障害  
 (注) 関係ない部分は記入不要

右		左
	上肢長cm	
	下肢長cm	
	上腕周径cm	
	前腕周径cm	
	大腿周径cm	
	下腿周径cm	
	握力 kg	

計測法

上肢長：肩峰→機骨茎状突起  
 前腕周径：最大周径

下肢長：上前腸骨棘→(脛骨)内果  
 大腿周径：膝蓋骨上縁上10cmの周径（小児等の場合は別記）

上腕周径：最大周径  
 下腿周径：最大周径

**2 動作・活動** 自立—○ 半介助—△ 全介助又は不能—×、( )の中のものを使う時はそれに○

かぶりシャツを着て脱ぐ		ズボンをはいて脱ぐ（自助具）	
ワイシャツを着てボタンをとめる		靴下を履く [どのような姿勢でもよい]	
コップで水を飲む	右	寝返りをする	
	左	いすに腰掛ける	
顔を洗いタオルでふく		洋式便器にすわる	
ブラッシで歯を磨く（自助具）	右	正座で座る（背もたれ、支え）	分
	左	あぐらで座る（背もたれ、支え）	分
タオルをしぼる [水をきれ程度]		横座りで座る（背もたれ、支え）	分
背中を洗う	右	足を投げ出して座る（背もたれ、支え）	分
	左	片足で立つ	右
排せつの後始末をする	右		左
	左	立ち上がる（手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具）	
つまむ [新聞紙が引き抜けない程度]	右	家の中の移動（壁、杖、松葉杖、義肢、装具、車椅子）	
	左	二階まで階段を昇って降りる（手すり、杖、松葉杖）	昇降
握る [丸めた週刊誌が引き抜けない程度]	右	屋外での移動（杖、松葉杖、車椅子）	
	左	公共の乗物を利用する [タクシーを除く]	
箸で食事をする（スプーン、自助具）	右		
(参考) 利き手	右・左		

注：身体障害者福祉法の等級は機能障害（impairment）のレベルで認定されますので（ ）の中に○がついている場合、原則として自立していないという解釈になります。

**3 上肢の状態、歩行能力および起立位の状況**（該当するものを○で囲み、□に数値を記入する。）

- (1) 上肢で下げられる重さ（手指でも肘でもよい） 右：正常・（ 10 kg ・ 5 kg ）以内可能・不能  
 左：正常・（ 10 kg ・ 5 kg ）以内可能・不能
- (2) 歩行能力（補装具あり【器物使用および介助を含む】）：□ m ・ 不能
- (3) 歩行能力（補装具なし【器物使用および介助を含まない】）：□ m ・ 不能
- (4) 起立位保持（補装具なし【器物使用および介助を含まない】） 右：□ 秒 左：□ 秒 両下肢：□ 分
- (5) 坐位の耐久性 □ 分

## 関節可動域(ROM)と筋力テスト(MMT) (この表は必要な部分を記入)

	筋力テスト( )	関節可動域	筋力テスト( )	関節可動域	筋力テスト( )
右	( ) 前屈		後屈 ( ) 頸	( ) 左屈	
	( ) 前屈		後屈 ( ) 体幹	( ) 左屈	
	( ) 屈曲		伸展 ( ) 肩	( ) 伸展	
	( ) 外転		内転 ( ) 肩	( ) 内転	
	( ) 外旋		内旋 ( ) 肩	( ) 内旋	
	( ) 屈曲		伸展 ( ) 肘	( ) 伸展	
	( ) 回外		回内 ( ) 前腕	( ) 回内	
	( ) 掌屈		背屈 ( ) 手	( ) 背屈	
	( ) 屈曲		伸展 ( ) 母	( ) 伸展	
	( ) 屈曲		伸展 ( ) 示	( ) 伸展	
( ) 屈曲		伸展 ( ) 中	( ) 伸展		
( ) 屈曲		伸展 ( ) 環	( ) 伸展		
( ) 屈曲		伸展 ( ) 小	( ) 伸展		
( ) 屈曲		伸展 ( ) 母	( ) 伸展		
( ) 屈曲		伸展 ( ) 示	( ) 伸展		
( ) 屈曲		伸展 ( ) 中	( ) 伸展		
( ) 屈曲		伸展 ( ) 環	( ) 伸展		
( ) 屈曲		伸展 ( ) 小	( ) 伸展		
( ) 屈曲		伸展 ( ) 股	( ) 伸展		
( ) 外転		内転 ( ) 股	( ) 内転		
( ) 外旋		内旋 ( ) 股	( ) 内旋		
( ) 屈曲		伸展 ( ) 膝	( ) 伸展		
( ) 底屈		背屈 ( ) 足	( ) 背屈		

### 備考

注:

1. 関節可動域は、他動的可動域を原則とする。
2. 関節可動域は、基本肢位を0度とする日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会の指定する表示法とする。
3. 関節可動域の図示は、のように両端に太線をひき、その間を矢印で結ぶ。強直の場合は、強直肢位に波線(〽)を引く。
4. 筋力については、表( )内に×△○印を記入する。×印は、筋力が消失または著減(筋力0、1、2該当) △印は、筋力半減(筋力3該当)

5. ○印は、筋力正常またはやや減(筋力4、5該当)
6. (PIP)の項母指は(IP)関節を指す。
7. DIP その他手指の対立内外転等の表示は必要に応じ備考欄を用いる。
7. 図中ぬりつぶした部分は、参考的正常範囲外の部分で、反張膝等の異常可動はこの部分にはみ出し記入となる。

例示

(×) 伸展 屈曲(△)